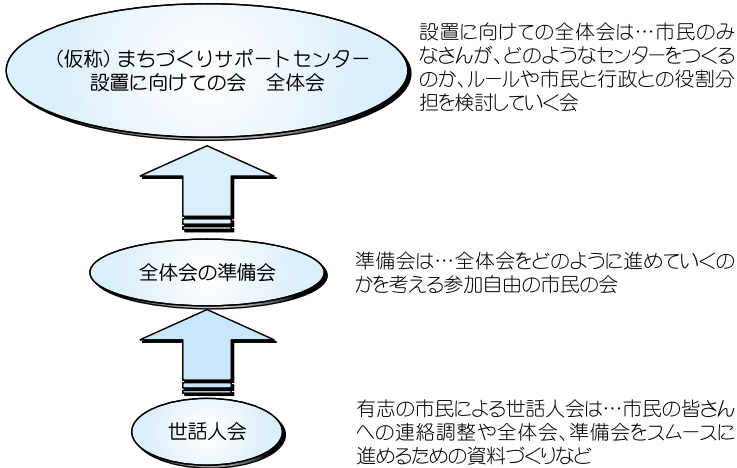


市民一人ひとりが 主役のまちづくり



3層構造からなる会の位置付け



これまでの会のあゆみ

日程	会の名称と会議の内容
15年 11月29日 (土)	第1回 (仮称)まちづくりサポートセンター設置に向けての会 基調講演、先進まちづくりサポートセンターの事例報告およびパネルディスカッション等。「行政主導ではなく、市民が会の進め方も話し合いの中で決めていきたい」との声が複数の市民から挙がる
12月20日 (土)	引き続きの会 第1回の参加者から、次の2月8日を市民主体で進めていくためざっくばらんに話し合いたい、との声を受けて開催。行政にお任せする従来の要望型ではなく、市民主体で進めていくために、集まれる市民で第1回の会の感想や個人の思いを語り合う
16年 1月10日 (土)	引き続きの会(第2回の会の進め方を具体的に詰めていく会) 第2回の会をどう進めていくか、当日の参加者が知恵を出し合い話し合う
2月8日 (日)	第2回(仮称)まちづくりサポートセンター設置に向けての会 「夢のある語らいの場～出し合おう あなたの夢と声を～」をテーマに、約100名の市民がまちづくりの夢を語り合う(当日の第3部「この会を(仮称)まちづくりサポートセンターの設置につなげていくには?」は時間切れとなり、3月30日に再度集まることに決定)
2月28日 (土)	これまでの振り返りながら語り合う場 次回の3月30日まで待てないという市民の声に語り合う場を提供
3月30日 (火)	引き続きの会 第2回の続き「この会を(仮称)まちづくりサポートセンターの設置につなげていくには?」。この会を「全体会」「準備会」「世話人会」の3層構造で当面進めていくことに決定

“誇れるまち、ふるさと東久留米のまちづくり”をあなたの力で実現させるとき

「(仮称)まちづくりサポートセンター」の設置に向けて

市では、市のまちづくりの基本指針となる“第3次長期総合計画”の中で、情報の集約・提供機能とアイデアをまちづくりに生かしていく機能を併せ持つ、「(仮称)まちづくりサポートセンター」のあり方を検討していくとしています。このことを受け、市民の皆さんと一緒に、同センターの具体的な設置に向けての検討が昨年11月から始まりました。その検討経過の紹介と次回会合をご案内します。

詳しくは生活文化課市民協働係☎70・7738へ。



協働の取り組みって?

市が現在進めている協働のまちづくりの「協働」とは、市民団体と行政それぞれが果たすべき責務と役割を自覚して、相互に補完し、協力し合う関係のことです。つまり、一方的な要望型ではなく、ともに知恵を出し合い、地域の課題を解決していく手法を考へ出し実行していくことというのが「協働」の基本です。この協働のまちづくりを進めるために、各種団体の実情並びに協働意向を探ることに市では昨年12月、市民活動団体意識・実態アンケート調査を実施しました。650団体に調査票を送り、有効回答数は285団体で回答率は43.8%でした。

した理由の一番に「協働自体がよく分からない」が挙げられています。市ではこれまで「協働」の理解を深めるため「協働のまちづくりの研修会」を開催したり、既存事業を協働の視点からモデル的に評価するなど取り組みを行ってまいりました(市民活動団体調査の詳細は市政情報コーナー 市役所2階、中央・滝山・東部・ひばりが丘の各図書館、下里・南町・野火止の各コミュニティ図書室でもご覧いただけます)。

市民による検討の場

一方、協働のまちづくり推進の拠点として「(仮称)まちづくりサポートセンター」の設置に向けた検討が進んでいます。これは、情報の集約・提供機能、市民活動やさまざまなアイデアをまちづくりに生かしていく機能、これらを併せ持つ市民主体のまちづくりを支援するため、そのあり方の検討を17年度までの「第3回目(仮称)まちづくりサポ

3次長期総合計画前期基本計画の中に位置付けているもので、左表の通り、同センターの具体的な設置に向けての検討が昨年11月から始まりました(会の位置付け 構造は左図を参照)。

初回の会に参加者から「会の進め方も行政主導ではなく市民主体で進めていきたい」との声が上がり、行政にお任せ型ではない、行政との協働手法を取り入れたセンター設置に向けての検討が重ねられています。

数回話し合いで、市民の力による住み良いまちの実現に向け、それを支える(仮称)まちづくりサポートセンターはどのようなものか、まずは、設置に向けて話し合う会を実施するために市民と行政がどう役割分担するかという段階に差しかかってきました。

【日時】5月9日(日)午後2時～5時
【会場】市役所7階701会議室
【定員】先着100名
【参加費】無料
【その他】なたでも自由に参加できます(手話通訳付き)。満2歳未満就学のお子さんの保育あり(事前予約制 定員あり)。同会のプログラム等の詳細は現在世話人会・準備会で検討中です。世話人会および準備会への参加希望者も募集しています。

生活文化課メールアドレス = seikatsubunka@city.higashikurume.lg.jp

あなたが市長だったら パブリックコメントを 募集します

市では18年度から始まる後期基本計画を市民の皆さんの声を聞きながら策定していきます。策定作業に着手する前段階で皆さんの声を聞くために、第1弾として5月初旬からフリーテーマのパブリックコメント募集を行います。安全で安心して暮らせるまちづくりのために、選ばれ続けるまちであるために、東久留米市はどんなに選ばれるべきか、詳しくは企画調整課☎70・7702へ。

現在、市民の皆さんからいただいている税金を含め、市に入ってくるすべてのお金には使い道があります。使い道の無いお金はありません。つまり、何かを始めるには、何かを止めたり工夫する必要があります。これまで市では「何か」を止めなくていいように、それまでに蓄えてきた貯金を取り崩してやり繰りしてきましたが、それも限界を迎えました。入ってくるお金が増えれば、新しくできることも増えていきます。ところが、入ってくるお金は増えませんが、むしろ減っていく傾向にあります。これから定めようとしている今後5年間の計画では、何かを始める、それよりも前に何かを続けるために、何を我慢するか工夫することが必要です。皆さんは市長です。安全で安心して暮らせるまち、すつ

と選ばれ続けるまちをつくるために、何を工夫して、何をしますか。【募集方法】「あなたが市長だったら、今後5年間で何をしますか」に対するコメントを1200字程度にまとめ(原稿用紙3枚、ワープロならA4で1枚程度)、5月1日(土)～31日(月)の、〒203-8555、市役所企画調整課あて郵送またはファクス70・7804、電子メール(メールアドレスは下記参照)にて提出してください。【ご注意】皆さんからいただいたご意見は、今後組織される後期基本計画策定委員会へ提出させていただきます。また、ホームページで公開したり、刊行物として発表する場合があります。ご意見は、活用したり公表させていただきます。個人のプライバシーの保護や、文言の修正、掲載紙面の都合上、要約または編集させていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。応募された原稿の返却はしません。

企画調整課メールアドレス = kikakuchosei@city.higashikurume.lg.jp

